

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年10月1日（水）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアAA（図1）
- ・大型廃棄物保管庫（図1）

3 確認項目

- （1）瓦礫類一時保管エリアAAの状況
- （2）大型廃棄物保管庫耐震補強工事の状況

4 確認結果の概要

（1）瓦礫類一時保管エリアAAの状況

東京電力は、廃棄物管理の適正化の一環として、瓦礫類一時保管エリアAA（以下「エリアAA既設部」という。）に隣接する使用済保護衣等一時保管エリアiの一部を編入し、エリアAAを拡張した（以下「エリアAA拡張部」という。）ことから、その状況を確認した。（前回確認：[令和7年8月26日](#)）

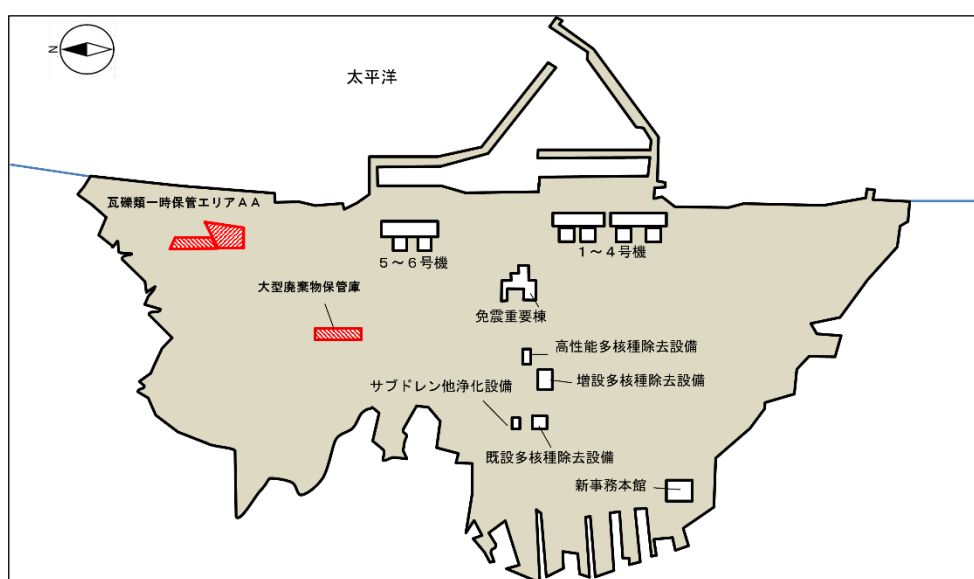
- ・エリアAA既設部及び拡張部に保管されている20ftコンテナ（以下「コンテナ」という。）は、傾きや転倒はなく適正に配置されていた。また、確認した範囲において内容物の流出等はなかった。（写真1及び写真2）
- ・エリアAA拡張部には前回確認時になかったクレーン車が配置されていた。（写真2）
- ・エリアAA拡張部東側及び南側にJ9タンクエリアで解体された瓦礫類が充填されたコンテナ21基が保管されていた。（写真3）

（2）大型廃棄物保管庫耐震補強工事の状況

大型廃棄物保管庫（以下「保管庫」という。）は、屋外で一時保管されている使用済セシウム吸着塔を保管するため、5/6号機北側造成地内に整備されている。保管庫については、令和5年6月に原子力規制委員会による使用前検査を完了しているが、令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震を踏まえ、原子力規制委員会が策定した「東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における耐震クラス分類と地震動の適用の考え方（令和4年11月）」に基づく耐震クラスの見直しにより、建屋本体の耐震補強等が必要となり、追加工事を実施している。

今回は、保管庫の耐震補強工事の進捗状況について確認した。（前回確認：[令和7年8月21日](#)）

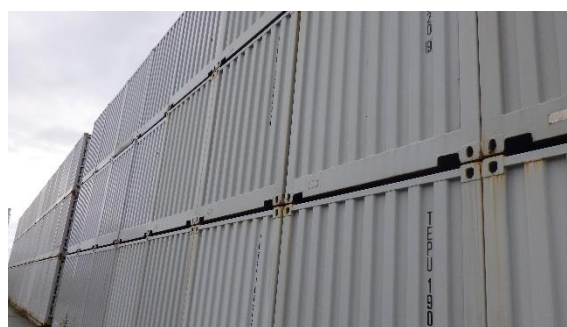
- ・保管庫東側の壁において実施されていた、既設鉄骨と新設鉄骨を接続するための部材（鉄骨ブラケット）の取り付け作業が完了し、新たな外壁が完成していた。（写真4）
- ・保管庫東側の基礎スラブの増設工事は完了し、建屋補強を目的としたバットレス（控え壁）の設置に向けた工事が進められていた。（写真5）
- ・確認した範囲において、保管されている資機材は整然と仮置きされており、資機材の散逸等の異常はなく、整理整頓が行き届いていた。



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1①） エリアA A既設部の状況



（写真1②） コンテナの状況



(写真 2 ①) エリア A A 拡張部の状況



(写真 2 ②) エリア A A 拡張部の状況



(写真 3 ①) タンク解体物を収納した
コンテナの保管状況



(写真 3 ②) タンク解体物を収納した
コンテナの保管状況



(写真 4 ①) 保管庫全景



(写真 4 ②) 基礎スラブの状況



(写真 5) バットレス設置の準備状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。